

令和8年3月18日

報道関係各位

(公財)日本海事広報協会

船や港の新聞コンクール「ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」 国土交通大臣賞 授与式・海事広報協会会長 表彰式を開催

海運、港湾など海事産業をテーマにした小中高生向け新聞コンクール「2025年度ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」(主催・公益財団法人日本海事広報協会、会長・長澤仁志)のグランプリである「国土交通大臣賞」(小学生部門、中学生・高校生部門)の授与式を開催しました。

小学生部門については3月10日、国土交通省東北運輸局で、真田修一海事振興部長より聖ドミニコ学院小学校6年の阿部英明さんに、中学生・高校生部門においては、3月17日、国土交通省海事局で、新垣慶太海事局長より宝仙学園順天堂大学系属理数インター中学校3年の西村 亮祐さんに、それぞれ表彰状と副賞が贈られました。

また、3月16日に海運クラブで、準グランプリである「(公財)日本海事広報協会会長賞」(小学生部門、中学生・高校生部門)の表彰式を開催しました。

小学生部門、中学生・高校生部門ともに、長澤仁志会長より大田区立入新井第五小学校5年の青木 史織さん、N高等学校2年の阿部 達也さんに、それぞれ表彰状と副賞が贈られました。

大臣選評と受賞コメント、賞の概要等は別紙のとおりです。

※結果と作品は当会HP等でも発表しております。全国での入賞作品展を予定しています。

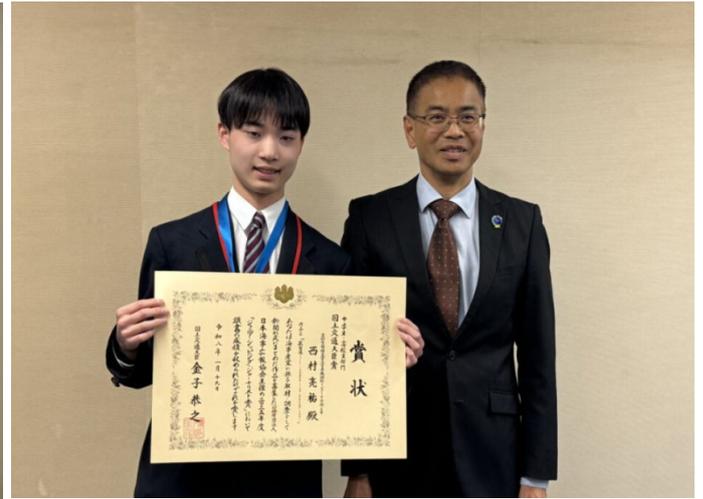
この件に関するお問い合わせは

(公財)日本海事広報協会 事業部 鈴木悠樹
〒104-0043 東京都中央区湊2-12-6 湊SYビル
TEL.03-3552-5033/FAX.03-3553-6580
Email y.suzuki@kaijipr.or.jp

【国土交通大臣賞】



小学生部門の阿部さん



中学生・高校生部門の西村さん（左）、新垣・海事局長（右）

【日本海事広報協会会長賞】



中学生・高校生部門の阿部さん（左）、長澤・日本海事広報協会会長（中央）、小学生部門の青木さん（右）

○国土交通大臣賞受賞作品への金子恭之大臣選評

小学生部門「海の工事船新聞」（宮城県 聖ドミニコ学院小学校 阿部 英明さん作）

全体の構成やレイアウトに工夫が見られ、内容も簡潔にまとめられています。現地取材を通して得た体験を的確に記事へ落とし込んでおり、並々ならぬ努力がうかがえます。小学生とは思えない完成度の高い作品で、今後さらに視野を広げた作品が期待されます。

中学生・高校生部門「敦賀港～It looked like heaven,too～」

（東京都 宝仙学園順天堂大学系属理数インター中学校 西村 亮祐さん作）

テーマに対する視点が斬新で、読み手を強く意識した構成となっています。歴史的背景を展開しながら、自身の考えを表現しており、高い文章力と熱意が感じられます。新聞としての完成度も高く、作品を通して社会的な問題への意識が分かりやすく伝わる点も高く評価します。

○授賞コメント（要旨）

【国土交通大臣賞】

阿部 英明（あべ ひであき）さん「今回で4度目の応募となり、ついに大臣賞を受賞することができて、すごく嬉しいです。これまでの積み重ねの成果だと思いました。海と船が大好きなので、将来は船や港に関わる仕事に就きたいと思っています。今回の受賞を励みに、その目標を実現できるよう頑張ります。」

西村 亮祐さん（にしむら りょうすけ）「大臣賞受賞の知らせを聞いた時は、嬉しさとともに驚きもありました。かつて敦賀港が、海外の孤児や難民を受け入れ、多くの命をつないだ歴史に着目しました。作品を通して、船は人やモノを運ぶだけでなく、命や希望も運ぶ存在であることを知ってもらえたら嬉しいです。」

【日本海事広報協会会長】

青木 史織（あおき しおり）さん「受賞の知らせを聞いた時は、とても驚きました。作品は夏休みに多くの時間をかけて制作しました。船のことをあまり知らない人にも分かりやすく伝えるよう、言葉の説明や見せ方を工夫しました。この作品を通して、関東大震災の際に船が人々を助けるために活躍したことを多くの人に知ってもらえたら嬉しいです。」

阿部 達也（あべ たつや）さん「受賞できて大変うれしく思います。もともと機関士を目指しており、船のエンジンに強い関心がありました。国産舶用水素エンジンの陸上運転成功やゼロエミッション船に向けた動きなどを取り上げ、現場で取材して見聞きしたことを記事に生かしました。今後も学びを重ね、夢の実現につなげていきたいです。」

「ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」について

四方を海に囲まれた日本は、水産資源や観光など海の恩恵を受ける一方、せまい国土から採れる必要な資源の量は限られています。そのため、私たちの暮らしに必要な食料やエネルギー資源の多くを海外からの輸入に頼っています。そしてそのほぼ100%を船で日本へ運んでいます。

「ジュニア・SHIPPING・ジャーナリスト賞」は全国の小学生・中学生・高校生の皆さんに、それら貿易を担う「海運」などの海事産業やそれにかかわる「船」や「港」について学び、その重要性を理解してもらいたいと2013年から開催し、今年度で13回目を迎えました。

2025年度も全国から多くの素晴らしい作品が1,531点集まりました。子どもジャーナリストたちの作品を通して、1人でも多くの人に海事産業や「船」、「港」の大切さを理解し、身近に感じてほしいと願っています。

審査委員（敬称略）

歌手・エッセイスト・教育学博士 アグネス・チャン

全国新聞教育研究協議会理事長 小林豊茂

東京海洋大学教授 黒川久幸

公益財団法人日本海事広報協会理事長 岡部直己

主催

公益財団法人日本海事広報協会

後援

国土交通省、文部科学省、海上保安庁、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国市町村教育委員会連合会、全国新聞教育研究協議会、一般社団法人日本船主協会、一般社団法人日本造船工業会、一般社団法人日本中小型造船工業会、公益社団法人日本港湾協会、日本内航海運組合総連合会、一般社団法人日本旅客船協会

「ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」は、公益財団法人日本海事センターからの補助を受けて実施しています。